

会場案内

JAビル カンファレンスセンター 4階 401A
 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル
 TEL:03-3212-1912(代)

- 電車でのアクセス
 - ◎地下鉄千代田線・半蔵門線・三田線・東西線・丸の内線(東京メトロ) 大手町駅下車 C2b出口
 - ◎地下鉄東西線(東京メトロ) 竹橋駅下車 4番出口
- お車でのアクセス
 首都高速道路: 神田橋インターチェンジをご利用ください



お申し込み方法

下記のいずれかの方法で、お申し込みいただけます。その際に、開催日またはタイトルをお伝えください(定員になり次第、締め切らせて頂きます)。また、ご案内のセミナーは基本的に機関投資家および資産運用に関連する方を対象とさせて頂いております。それ以外の方からのお申し込みはお断りさせて頂く場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

こちらからお申し込み下さい

- ① <http://www.fromhlc.com>
プロ投資家向け 資産運用情報サイト「from HC」
- ② FAX: 03-6685-0686
- ③ TEL: 03-6685-0683

※今後、セミナー案内をご希望されない方は、誠にお手数ですが、セミナー事務局まで、お電話(03-6685-0683)か、E-mail(info@fromhlc.com)にて、ご連絡をお願い致します。

本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討することを目的としております。
 本セミナー終了後には金融商品取引契約の勧誘を行う場合がございます。金融商品取引契約においては、投資対象の価格変動等により損失が生じる恐れがあります。また、報酬や諸経費は、契約毎に投資対象の種類等が異なるため、予め表示できません。なお、契約毎にリスク及び報酬や諸経費は異なりますので、契約締結前交付書面等をご覧下さい。

HCアセットマネジメント株式会社

一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会加入

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-11 IP-Phone.050-3539-5013 Tel.03-6685-0681 Fax.03-6685-0686

事業価値と 資本構成

8/21 (火) 東京

15:00~17:30
(開場14:30)

会場: JAビル カンファレンスセンター 4階 401A
 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル
 TEL: 03-3212-1912(代)

[人+産業金融=成長]
 成長を支える投資の原点へ

HC
asset
management

Seminar
2018

ご挨拶に代えて

ラーメン産業に投資する方法

『森本紀行はこうみる <http://www.fromhc.com/column/>』(2018.6.7)より

ラーメン産業は職人の人的資本が決め手になる産業です。一方で、零細な自己資本で創業できるが故に活発な新規参入が促され、参入障壁が低いからこそ競争が激烈になる、それがラーメン産業の仕組みなのでしょう。

この競争原理の導入が産業の発展をもたらした例に、空運業、即ちエアライン産業があります。

自由化によって大量に新規創業された新興エアライン会社は、低価格を武器に激しい競争をもたらしたが故に産業全体の発展には大いに貢献したのですが、その厳しい競争が各社の体力を消耗させて破綻確率を高めてしまうという結果を招きました。この共通点はラーメン産業への投資方法を考えるのに極めて有益な示唆を与えてくれるのです。

まず、エアラインの場合、航空機という非常に高価な装置の所有のために大規模な資金調達を行わなければならないのですが、金融の論理からいえば、破綻確率の高い会社に投資することも、融資することも極めて困難であるといわざるを得ません。そこで、カネではなくてモノを貸すという航空機のオペレーティングリースが利用されるようになったのです。

この仕組みは、大きな資本を必要としていた産業構造を抜本的に改革し、必要資本を最小化することで、いわばラーメン産業型に転換することで、競争による産業の成長をもたらしたものと見えるでしょう。

伝統的に、金融は企業金融、即ち企業に対する金融なのですが、航空機リースの場合、資金は航空機という産業の基盤に向けられているわけです。故に、これは産業金融といわれるべきものです。

ラーメン屋には融資できない、どうしたら農業を株式会社にできるかなどという考え方は、融資や株式会社という既成概念を適用する立場のもので、ラーメンや農業の実情に即した創造的な発想とは無縁です。

金融は、もっともっと創造的でなければなりません。

講師：森本紀行

講演内容

投資の原点は、事業投資です。事業価値とは、企業が事業活動を通じて生み出すキャッシュフローの現在価値です。ある企業の事業自体に事業価値がないならば、その株式も、社債も、その企業への融資も、投資価値がないはずで

す。株式や債券・融資などの伝統的な資産は、伝統的な企業金融のあり方を前提にしたもので、その企業金融の構造が変われば、リスク管理の視点も変わり、資産構造にまで波及します。一方で、特定の資産の取得や、特定の開発案件の遂行など、事業毎に目的(オブジェクト)を特定して、その目的だけを分離して、資金調達する事業金融(オブジェクトファイナンス)の場合、リスクは特定事業の範囲内に限定されます。

資金調達においては、金融の社会的機能の拡大に伴い、制度的分業化が進行し、株式や社債(債券一般)などの証券は資本市場を経由した資産運用業の対象となり、融資は銀行業の対象となりました。さらに、優先劣後に基づいて調達手段の高度化が進んでいます。

もはや、単純な株式・債券投資では、有効な分散投資はできません。複雑化した資本市場のなかで、事業投資という原点への回帰が必要になっています。そして、その事業価値に参画する技術論として、資本構成上の選択が、新しい資産配分の基礎になっていくと思われます。今回は、投資の原点である本質的なテーマを取りあげます。

講演項目

●企業価値と事業価値

- ◎合理性なき多角化と事業経営の合理性
- ◎ガバナンス一体改革

●事業キャッシュフローと資本構成

- ◎事業価値変動を吸収する最適資本構成
- ◎事業価値に対するバリュートとグロース
- ◎インカムとリスク

●多様な資金調達の方法

- ◎オブジェクトファイナンスとリスク管理
- ◎高度化する投資機会
- ◎資金調達の構造変化による伝統資産の解体



講師略歴

HCアセットマネジメント株式会社
代表取締役社長

森本紀行

三井生命のファンドマネジャーを経て、1990年1月当時のワイアット株式会社に入社。日本初の事業として、年金基金等の機関投資家向け投資コンサルティング事業を立ち上げる。2002年11月、HCアセットマネジメントを設立、全世界の投資機会を発掘し、専門家に運用委託するという、新しいタイプの資産運用事業を始める。東京大学文学部哲学科卒。